

(3) 二人は、左に動かす三角定規を、斜辺を底辺としたときの高さが△ABCと等しい 45° 、 45° 、 90° の三角定規に変えて、重なったところのできる四角形について考えることにしました。…△GHIを動かしても、四角形ARGSの∠ARGと∠ASGの和はいつでも 180° になります。このほかに、∠ARG、∠ASGの大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。

解答：(例) ∠ARG、∠ASGのそれぞれの大きさは変わらない。

領域…【図形】 この設問は全国・全道についても正答率は高くはないですが、本校はその全国・全道と比べても低いというものでした。あわせて、無回答の生徒も多く見られました。また、解答形式で見ると、今回のような記述式に加え選択式にもやや苦手意識が見られました。

3. 生徒質問紙による学習状況に関する調査

○69の質問項目の中で、全国の回答と比較し、良い傾向を示した項目は次のとおりです。

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・自分には、よいところがあると思いますか
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか
- ・国語の勉強は好きですか
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか
- ・国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか
- ・国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか
- ・数学の勉強は好きですか
- ・数学の授業の内容はよく分かりますか
- ・数学の問題の解き方が分からないときには、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
- ・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いてますか

○質問項目の中で、全国の回答と比較し、改善が必要と思われる項目は次のとおりです。

- ・普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか。
- ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- ・あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか
- ・英語の勉強は好きですか
- ・2年生のときに受けた授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか

今回の調査結果を踏まえ、課題となる傾向を学校全体で共有し、生徒に各教科の知識・技能を習得させ、習得した知識・技能を活用できる力を育むため、各教科における指導を工夫・改善していきます。

教科としての改善策について

<国語>

- ・活字に接する時間を増やすなど、家庭学習を積極的に奨励します。
- ・語彙力の向上は不可欠であるため、新しい単元に入ったときは、最初に語句の意味調べや短作文づくりなどの活動を継続します。
- ・漢字の読み書きを毎回の授業で継続して取り組んでいきます。
- ・教材の内容に応じて暗唱に取り組み、読み込みの深さから思考力を育てるとともに、美しい日本語に触れることで言語感覚を養います。

<数学>

- ・家庭学習の習慣の定着を図るために、課題の出し方を工夫します。
- ・計算能力の定着を目指し、既習事項の復習や他領域との関連付けを図り、継続的に取り組みます。
- ・デジタル教科書等を活用して視覚的に学習を進めます。
- ・考えをまとめ発表するなど、思考場面を設定して、論理的思考力を高めます。
- ・個々の誤答の分析を行い、同じミスを繰り返さないような反復した学習を行います。

学校としての改善策について

- ・基礎基本の習得(定着)のための授業改善を行います。
- ・学習の見通しを持たせる授業を工夫し、生徒の学習意欲を高めます。
- ・反復学習や補充的な指導により、基礎基本の習得(定着)を図っていきます。
- ・デジタル教科書、電子黒板などのICT機器を積極的に使用し、教育効果を高め、生徒の学習意欲を高めます。
- ・タブレット型PCをさらに有効活用できるように工夫をすすめ、一人ひとりに合った学習ができるよう取り組んでいきます。
- ・グループ、個人、全体などの学習形態を工夫し、協働的な学び合いができる授業づくりをします。
- ・ノート指導、レポート作成など、書くことで思考力、判断力、表現力を育てていきます。
- ・反復学習や補充的学習などを効果的に活用しながら、自学自習習慣を育成します。
- ・生徒たちが主体的に、まわりと考えながら課題解決学習を行い深い学びを積極的に展開していきます。
- ・家庭学習の習慣化をさらに図っていきます。また、家庭学習時間を記録化するなど、その取組をもとにやる気を導き、学級指導に活かしていきます。

ご家庭へのお願い

令和3年度の全国学力・学習状況調査の概要は上記のとおりでした。学力を伸ばすためには、学校と家庭が連携した多様な取組が必要となります。学校では、「主体的・対話的で深い学び」になるよう授業改善に努めています。ご家庭におかれましても、次の点に留意されますようお願いいたします。

1. 規則正しい一日のサイクルを確立し、望ましい生活習慣を身につけさせるために
 - 毎日決まった時間に就寝し、起床し、睡眠時間をしっかりと確保させること
 - 必ず朝食をとってから登校させること
 2. 家庭学習の時間を確保するために
 - 毎日決まった時間に、継続して机に向かう習慣を身に付けること
 - 「えべつスマート4ルール」(1日2時間以内、夜9時以降は使用しない等)を励行すること
 - テレビ、ビデオ、DVD等の視聴、インターネット閲覧、ゲームやメール、SNS等に費やす時間をお子様と話し合い、「我が家のルール」などの約束を決め、しっかりと守らせること
 3. 社会の出来事に関心をもたせ、必要な情報を取捨選択する能力を育成するために
 - 新聞を読んだりニュース番組を見たりする習慣を身につけさせること
- こうした上で、学校と家庭が連携し、子どもたちに、一日2時間以上の家庭学習の習慣をしっかりと身につけさせたいと考えます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。